

■ 窯業系外壁材について

① 基材

住宅施工後、経年により窯業系サイディングに、多少の反りや微細な亀裂（ヘアークラック）、うねりなどが発生することもあります。特に地震や台風の後などにひび割れが発生することがありますので点検を行ってください。

ただしこれらは、外壁材としての性能を大きく損なうことはありません。



② 表面塗膜

年月の経過と共に塗膜は雨水や紫外線により劣化（塗膜のひび割れ、艶引けや色あせなど）が進みます。

目安として年に1回程度の点検をおすすめします。

③ シーリング目地

経年と共に劣化が進み、地震などの建物の揺れにより「切れ」や「剥離」が起こることもあります。

（資料提供：日本窯業外装材協会）

※これらの点検により、気になる変化を見つけた際には工務店様・専門業者様にご相談の上、再塗装やシーリングの打ち替えなどお早めのお手入れをおすすめします。メンテナンス費用はお施主様負担となっております。